

知っているようで、あまり知らないかもしれない

特集

# 鹿児島弁のこと、

問題

次にある鹿児島弁の意味を答えなさい

めしげ



皆さんわかりましたか？ 正解は次のページに！

GO!





**調査結果** 問題を出した **30人中19人**が正解！ 正答率 **63.3%** でした。

全体では半分を超えたものの、10代の正答率は25%でした。印象としては、お母さん世代はすぐに「ああ！」と答えるものの、お父さんたちは「あれ…めしげって、なんて他に言うんだ…」と知っているのに思い出すのに時間がかかる方も。正答率も男性が58.8%に対し、女性は69.2%と差があり、お料理で使う身近な道具、という点で女性陣に有利な問題だったようです！



鹿児島弁伝承は生涯の仕事。と語る胡摩ヶ野千穂さん

曾於市には、鹿児島弁を愛し次世代に伝えようと活動を続けている人がいます。その一人である胡摩ヶ野さんにお話を伺いました。

# かごんまべん 鹿児島弁は「文化」

## めしげの「げ」は貝

昔は、しゃもじやお玉のすくう部分は「貝」を使っていました。しゃもじは「飯貝」と書いて「めしげ」、お玉は「貝杓子」と書いて「けじやくし」と読みます。鹿児島弁は歴史を辿り字に起こすことによって、より理解が深まります。

## 核家族化が原因か

今回のアンケートは興味深い結果になりました。20代から30代の正答率の低さには核家族化が原因だと考えられます。昔は3世代一緒に生活をしていたので、鹿児島弁も自然と身についたものです。今の若い世代の方たちは鹿児島弁に触れる機会が激減しています。年齢を重ねれば話せるものでもありません。

## 鹿児島弁は必要なのか

鹿児島弁は言葉の文化です。「鹿児島弁は必要なのか？」と問われることもあります。鹿児島弁も文化財と同じく、保護して次世代



うそ電話詐欺への注意を寸劇で呼びかける、べぶんこ会の会員

べぶんこ会は、福祉施設や障害者施設への慰問や高齢者の詐欺被害を防ぐため、鹿児島弁での寸劇で注意を呼びかけています。

また、鹿児島弁には初級・中級・上級の資格があり、受講者向けに鹿児島弁検定師範の胡摩ヶ野さんがアドバイスをしてくれます。

現在、べぶんこ会では会員を募集中！鹿児島弁のすばらしさ、おもしろさを楽しみながら次世代に伝承していくことを目的に活動しています。鹿児島弁を多くの人と楽しく語り合いたい人はお問い合わせください。

お問い合わせ先  
鹿児島弁検定委員会 大隅支部  
胡摩ヶ野 ☎ 080-6432-3475

へ継承していかなければ消えてしまう恐れがあると危惧しています。

## べぶんこ会の役割と使命

鹿児島弁を次世代に残すために「べぶんこ会」を立ち上げました。読み物だけではイントネーションが伝わらないため、寸劇を主に活動しています。

現在は高齢者向けに施設への慰問を行っています。高齢者の方は「鹿児島弁は知っているけど今は使わないから忘れていた。懐かしい」と喜んでくれます。鹿児島弁は聞く人に元気を与えます。その役割の大きさを感じています。

子どもたちには「よかにせ(イケメン)」「よかおごじよ(美女)」「うんめつ(美味しい)」など、学校で会話ができそうなものを教えています。鹿児島弁を次世代に残すには子どもたちが鍵になってきます。次世代への伝承—その使命感をもって「べぶんこ会」への活動に尽力していきます。

## 鹿児島弁

- ひったまがる ・
- ずんばい ・
- ぐらしい ・
- だれた ・
- はんとける ・
- がられる ・
- てげてげ ・

## 共通語

- ・ たくさん
- ・ ころぶ
- ・ びっくりする
- ・ いいかげん
- ・ かわいそう
- ・ おこられる
- ・ つかれた

## 問題 ①

同じ意味の単語を  
線で結びなさい

## 第二問

あるくんで、王様とお妃さまあん間い、むせー女ん子が生んまれました。雪つのごっしれもんやっで「○○」っち名前が付けられもした。

間ものお妃さまあはけしんみやっせえ、新しいお妃さまあが迎えられもした。お妃さまあは、みごちかいやっどん気持つをつんで人じやした。

お妃さまあはふしつなかがんぬ持つちよっせえ、こげなふにたんねやし。

「かがんよかがんこん世でいっばんみごちとは、だいかよ？」

そげんすつと、かがんがへずしもす。

「そなたおまんさまあおきさまあじやんど」

さて、○○はまごちみごちおごい育つもした。

ある日、おきさまあがかねつのごっかがんにたんぬつとかがんな

「○○がいっばんみごちかんど」ちへずしもした。

おきさまあ一人のてっぼううっ呼つせえ、げつしやした。

「○○をうっころせつきやん」

聞いてみよう!

<https://youtu.be/h9dS8VS7VXw>



## 第一問

むかーし、山ん中にじいさんとばあさんがおいやした。ある日んこ、ばあさんが川で洗濯をしーちよつたなら、どんぶらこどんぶらこち、ふつと桃が流れてきもした。

「もろ、じいさんに食べさせっせーうんめ桃、こっちこい！」

じいさんといっどき、たもろごなあ

「ばあさんが呼んだなら、桃が岸んほせえきもした。

「どっこいしょ。んここれおび桃じやいこ」

やっときつと、うちもつかいやした。

よのいもてなつ山にたつくぬといっきやつたじいさんが帰つきやした。

「こくろうさぐあしたなあきはやかあもんがあんど。ふたいで、たもいもんそなあ」

そげん言うて、ばあさんが桃を切ろうちすつと、

パッカーン！ふつとか音がして桃がまっぶた！

じいさんたちや、腰ぬかすごないもした。

じやっち桃ん中から、元気なおとこんこが出てきたとやしと。

聞いてみよう!

<https://youtu.be/qqJQDkPZTco>



## 問題 ②

次にある童話の冒頭部分を読んでそれぞれが何の話  
か当てなさい

正解は21ページをチェック!

上にあるお話を 実際に聞いてみましょう。文字で見るとはまた印象が違って面白いはず!